



〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南5-14-53
県民ふれあい会館1棟6階
FAX: 058-275-6066 TEL: 058-213-6786

ホームページ
メールアドレス
指定管理者

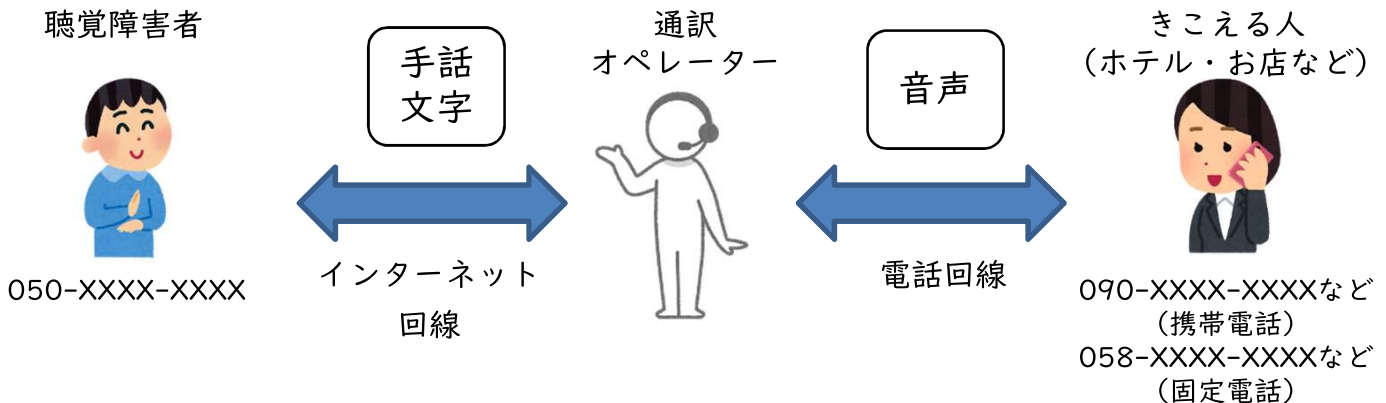
<https://gifudeafcenter.jp/>
gifudeafcenter@waltz.ocn.ne.jp
一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会

電話リレーサービス情報

法律に基づく正式な電話リレーサービスが、令和3年7月1日よりスタートしました。令和3年6月1日より登録申請が始まっていますが、当初は“身体障害者手帳”“運転免許証”“住民票”など本人確認の資料が必要で、登録が大変でした。6月22日より、“身体障害者手帳”だけで登録申請ができるようになり、手続きが簡略化されました。

申込方法は、①アプリで登録②郵送で登録の2通りあります。詳しい手順については、日本財団電話リレーサービスのホームページ (<https://nftrs.or.jp/>) をご確認ください。

なお、登録申込後電話リレーサービス用電話番号（050で始まる番号）、初回パスワードが簡易書留郵便等で届きますが、おおむね1週間～3週間かかります。登録申込後、すぐに利用はできませんので注意してください。



ポイント

- ◇050番号を持ち、この番号を連絡先として使うことで、きこえる人から聴覚障害者へ発信できるようになります。
- ◇110・118・119の緊急通報にも対応しています。
- ◇24時間365日いつでも発信ができます。

注意

- ◇一部の電話番号（0570番号など）は接続できません。
※詳細は、電話リレーサービス利用規約の第9条の13・14をご確認ください。
利用規約は、日本財団電話リレーサービスのHP→情報公開→利用規約から確認できます。
- ◇通訳オペレーターを指名することはできません。
- ◇かけ放題ではないため通話時間が長くなると、電話料金も高くなります。
※月額料金なしプラン、接続先が携帯電話の場合、1分あたり44円かかります。

全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会及び施設大会 報告

令和3年6月24日（木）オンライン（Zoom）にて全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会及び施設大会が開催されました。午前の施設大会では、①「聴覚障害者情報提供施設が今後担うべき役割・期待」を厚労省障害保健福祉部自立支援振興室の担当者より、②「運動の方向性と聴覚障害者情報提供施設に対する期待」を、全日本ろうあ連盟中西久美子氏より講演がありました。

午後からの総会では、提出された1号議案～5号議案は全て承認されました。最後に、新旧交代理事の紹介説明があり、閉会しました。

事業が多様化していくにあたり、聴覚障害者の生活の質の向上のためにも個々の得意分野や知識を生かし、研修などでスキルを磨いていくこと、センター内外ともに情報交換・情報共有を進めていくことが重要だと認識させられた1日でした。来年は第4ブロックで開催予定です。



手話等普及啓発のためのアウトリーチ事業

聴覚障害の基礎知識（①聴覚障害とは？②コミュニケーションの方法は？など）について学ぶ講座です。センター職員が出向く出前講座で、今回は山県市役所と白川町社会福祉協議会に伺いました。

○7月29日（木） 山県市役所

山県市役所から一般市民を対象とした講座の依頼があり、小学生から70代までと幅広い年齢層で24名の方に参加していただきました。

きこえない人の状況を初めて知ったという方が多く、これからの生活に生かしていきたいという声が多数挙がりました。ただ手話を学ぶだけでなく、聴覚障害に対する理解が深まることで、“聴覚障害者の気持ちが少しでも分かるようになった” “伝えたいという気持ちを持って接することが大切だと分かった” “筆談だけでは十分ではないことが分かった”などの声も寄せられました。

○8月11日（水） 白川町社会福祉協議会

福祉体験講座の一環として、小学4年生～6年生の23名を対象に講座を行いました。小学生に分かりやすい内容・説明を心掛け、興味をもって聞いていただけたと思います。“突然きこえなくなったら困ることは？”の質問に戸惑う子供たちが多かったのですが、徐々に理解が深まっていくように感じました。

小学生のうちに、きこえない人と出会い、いろいろなことを体験して感じることで、聴覚障害をはじめ、他の障害をもった人や高齢者等の多様な人たちが、同じ社会で暮らしていることへの理解が深まっていくと思います。

※アウトリーチ事業は少人数規模でも実施できますので、詳細は情報センターまでお問い合わせください。

ふれあいWeek 中止しました



令和3年8月25日（水）～30日（月）の期間で、ふれあいWeekを開催予定でしたが、緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の適用により、残念ながら中止しました。

次年度こそは、新型コロナウイルス感染症も落ち着き、例年通りのイベント開催ができることを願うばかりです。

関係団体の方々には、間際のお願いにも関わらず団体紹介データをご提供いただき、ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

ビデオライブラリーコーナー 新しくなりました



ビデオライブラリーコーナーをリニューアルしました。今までは、ジャンル毎（ドラマ、ドキュメンタリーなど）に並べていましたが、これからはビデオ・DVDの製作年度ごとに並べていきます。これによって新しいDVDがどこにあるか一目で分かるようになりました。アニメコーナーも一新しました！この機会に一度ビデオライブラリーコーナーをご覧ください。

ビデオライブラリーには、借りることができるビデオ・DVDが多数あります。借りるためには、利用登録が必要になります。詳細は、情報センターまでお問い合わせください。（きこえる人が借りることができるビデオ・DVDも多数あります。）



他都道府県 センターだよりコーナー 分かりやすくなりました



岐阜県聴覚障害者情報センターでは、年4回センターだよりを発行しています。利用者の中に、他の都道府県のセンターだよりを見たいという声があったことから、他都道府県センターだよりのコーナーを分かりやすくしました。

施設によっては作成していないところもあり、作成頻度も異なりますが（毎月作成、年4回作成など）、興味がある方は、一度ご覧になってみてください。

岐阜県手話言語条例啓発動画

情報センター YouTubeチャンネルにて、岐阜県手話言語条例啓発動画「手話の世界へようこそ」を公開しました。この動画は、株式会社アステムの協力のもと、（一社）岐阜県聴覚障害者協会が制作した動画です。

“手話って何？” “きこえないってどういうこと？” “手話ってどこで学べるの？” といった疑問を分かりやすく、解説した内容です。

ぜひ一度ご覧ください！



生活講座

○7月3日（土） “ゆったりヨガ”

参加者5名と少なかったのですが、マンツーマン指導に近い形で、猫のポーズや呼吸法を学びました。手話通訳付きで、講師の方にゆっくりと説明していただけたので、分かりやすく、参加者もやりやすい姿勢でできたので、難なくこなすことができました。参加者からは、『体がポカポカしてきた』『汗が出てきた』『頭が軽くなった』など、うれしいコメントをいただきました。



聴覚障害者セミナー

○7月4日（日） “ろう者がバス運転士になるまで その後のお話”



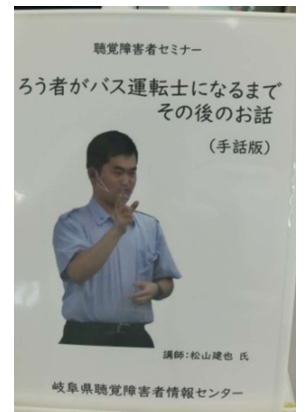
ろう者のバス運転士として活躍中の松山建也氏を講師に迎え、バス運転士に至るまでの経緯と、今後目指す夢などを語っていただきました。多くの参加申し込みがあったにも関わらず、コロナ禍のため定員15名しか受け入れできませんでしたが、非常に関心をもたれていることがわかりました。

講師は丁寧に分かりやすくお話してくださり、参加者の心に響いたようで質問も多数ありました。

『もっと話が聞きたかった』などの声もあり、非常に好評でした。

この講演の内容を、DVD、Blu-rayにしてライブラリーで貸出しています。

興味のある方は、情報センターまでお問い合わせください。



聴覚障害者撮影モデル募集



情報センターでは自主制作映像として、手話単語の動画や読み取りチャレンジシリーズをYouTube上に公開していますが、ご覧いただいていますでしょうか。

今後、手話表現の記録保存と、それを利用した読み取り教材への活用を目的とした、手話映像の撮影に協力していただける聴覚障害者（ろう者）を募集します。※特に高齢ろう者の方を希望。

昔のろうあ運動などの記憶を語ってみませんか？撮影場所は情報センター、もしくはお近くの会場（会議室等）を確保していただければ、出向いたします。

ぜひ我こそは！と思われた方は、情報センターまでご連絡ください。



情報センター
YouTubeチャンネル



LINE



Facebook



ブログ

左のQRコードを利用すると、情報センターのLINE、Facebook、ブログに簡単にアクセスできます。ぜひご利用ください。

